

# かがみい 議会だより

No.175  
令和2年2月  
発行 福島県鏡石町議会  
編集 議会広報広聴常任委員会  
〒969-0492 福島県岩瀬郡鏡石町  
不降沼345  
電話0248(62)2110  
印刷 (有)永山印刷



## 新成人160名決意新たに

成人としての自覚を新たにし、人生の大きな節目を迎えられた新成人の皆さんの門出を祝う「成人式」が1月12日(日)公民館において開催されました。

(写真は「成人式運営委員会」の皆さん)

令和二年  
祝  
成人  
鏡石町教育委員会

### 目次

第2回定例会	2ページ
審議の結果	3ページ
第2回臨時会	4ページ
一般質問	5~10ページ
行政視察	11ページ
町民の声	12ページ

### 町民の声

## 大好きです、鏡石。

民生児童委員協議会 会長 高宮文男



民生児童委員協議会会長  
たかみや ふみお さん  
高宮 文男

♪ たいちめんに  
♪ たちこめた ♪  
ご存じ「牧場の朝」の一節ですが、岩瀬牧場へは、この頃、遠足や友達同士で出かけ走り回った記憶が蘇ってきます。  
あの時から50数年、その間30年の県外生活を経ての現在ですが、郷土への思いは変わることなく大好きです。  
私は現在、民生児童委員を委嘱され、一斉改選を経て4年目を迎えました。

例えば4年前、行政区長より、民生児童委員にの打診があり、何考えることなく承諾しましたが、安請け合いました。自分自身に対し、憤りを覚えたものでした。  
しかし承諾した以上は、全力で取り組む覚悟を決め、民生児童委員とは？どんな活動をするのか？等のイロハをおぼろげながら理解しつつ、以来、支援を必要とする住民の方々と、行政や専門機関をつなぐパイプ役として活動し、3年の歳月が流れました。  
今こうしている間にも世相は、超高齢化、少子化が加速度的に進行、あらゆる分野に影を落とし、地域社会に多くの難題が突きつけられています。

この事態に、各自治体を取り組む福祉関連事業は多岐にわたり、山積する難題に立ち向かう行政、他団体の存在は、心強い限りです。  
このような環境下、私たち民生児童委員は、地域の見守り隊として、高齢者の一人暮らし世帯への随時訪問により、生活状況を把握、支援が必要と判断した場合、専門機関へ通報し対処します。  
また、子ども達が健全な成長を遂げられるようなよい環境作りのため、教育現場の生活指導者との定期的な意見交換の場を設け、取り組んでいます。  
更に、住民の皆様が日頃抱えている心配ごとにも相談に乗ります。  
一人で悩まず、まずは左記の相談所を訪れてみてはいかがでしょうか。  
なお、相談所へ出向けない場合、地区担当の民生児童委員宅でもご相談いただけます。

【開設日時】  
毎月第一日曜日  
(ただし一月は第二日曜日)  
午後1時30分〜3時30分  
【場所】  
鏡石町勤労青少年ホーム  
二階相談室

小学生の意見を町づくりに反映させることを目的とした「出張子ども議会」が11月6日(水)に鏡石一小、11日(月)に鏡石二小で開催されました。  
子どもたちの率直な質問に対し、遠藤町長が詳しく丁寧に答弁しました。



一小子ども議会



二小子ども議会

### 「出張子ども議会」開催

前回の東京オリンピックは56年前に開催され、当時わが町の中高校生によって、華やかに町内の旧国道を聖火がリレーされました。あの時の感激は多くの皆さんの記憶に残っていることと思います。  
今回の東京オリンピックの聖火は、全国に向けて福島県からスタートします。  
わが町からは鏡石中3年の関葵君(高久田)が聖火ランナーに選出されました。町民の代表者として走るその雄姿に私達は再び感動することでしょう。  
近年自然災害の猛威にさらされることも多くなっています。議会としても全議員一丸となり、災害に強い町づくりに取り組み、明るい令和時代を創造することに真摯に活動して参ります。  
(角田真美委員)

### 編集後記

発行責任者 古川 文雄  
議長 廣田 常任委員会  
委員長 今泉 文克  
副委員長 大河原 正雄  
委員 畑 幸一  
委員 角田 真美  
委員 木原 秀男  
委員 円谷 寛

第2回定例会

台風19号災害復旧関連予算など

全17案件を審議・議決

主な可決議案

第2回町議会定例会は、12月9日（月）から13日（金）までの5日間開催し、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定など17議案を審議し、議決しました。

また、一般質問は12月10日（火）に行われ、5名の議員が登壇し、台風19号被災者支援対策など多くの行政課題について、質問が行われました。



今回の定例会では、地方自治法・地方公務員法の改正による、会計年度任用制度に関する新条例を可決しました。これにより、臨時職員や嘱託職員の採用や待遇などがこれまで以上に明確化されます。

条例改正では、県人事院報告に準拠する議会議員の議員報酬等に関する条例、町長等の給与に関する条例、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を可決しました。

また、国の成年被後見人等の権限の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の制定により、鏡石町表彰条例・鏡石町印鑑登録及び証明に関する条例・鏡石町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の4条例の一部改正を可決しました。



町民プール「すいすい」

町民プール「すいすい」

指定管理者決まる

令和2年3月に指定期間満了となる町民プールの指定管理者を決定する議案を可決しました。

・指定管理者  
（株）アビック 水戸市  
・期間 令和5年3月31日まで



成田地区ハウス被害

災害関連補正予算

一般会計補正予算では、災害復旧予算などを中心に約13億3千万円の増額予算を可決しました。

一般会計の主な歳出予算案

- ・災害廃棄物処理業務 90,750千円
- ・農用地等災害復旧工事 582,000千円
- ・農業施設災害復旧事業 657,000千円
- ・公共土木災害復旧費 12,700千円

農業集落排水特別会計の主な歳出予算案

- ・成田浄化センター汚泥処理費1,760千円

第2回定例会 審議の結果

※令和元年12月定例会議案（報告等含む）17件（条例制定1件、条例改正7件、補正予算6件、陳情1件、その他2件）

議案等番号	議案件名及び概要等	議案等番号	議案件名及び概要等
議案第23号	公の施設の指定管理者の指定について（鏡石町民プールの指定管理者を令和4年度までの3年間指定する。）	議案第31号	鏡石町下水道条例の一部を改正する条例の制定について（成年被後見人等の権限の制限に係る措置の適正化に係る改正）
議案第24号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について（地方自治法・地方公務員法の改正により、臨時職員等を新制度「会計年度任用職員」として採用するための制定。）	議案第32号	町道路線の認定について（町道2路線の認定）
議案第25号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について（期末手当の額 1.52%引上げ）	議案第33号	令和元年度一般会計補正予算（第5号）（台風第19号復旧対策費などにより1,329,885千円の増額補正）
議案第26号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について（期末手当の額 1.52%引上げ）	議案第34号	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（一般療養給付費等の利用実績により、16,300千円の増額補正）
議案第27号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について（初任給を中心に30歳台半ばまでの給与（平均0.09%）引上げなど）	議案第35号	令和元年度鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）（第3工区内の道路設計費等への組み替え補正）
議案第28号	鏡石町表彰条例の一部を改正する条例の制定について（成年被後見人等の権限の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の制定による改正）	議案第36号	令和元年度公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）（流域下水道維持管理負担金等による増、及び人事異動による職員給与の減により1,510千円の増額補正）
議案第29号	鏡石町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について（成年被後見人等の権限の制限に係る措置の適正化に係る改正）	議案第37号	令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）（台風第19号復旧対策費などへの組み替え補正）
議案第30号	鏡石町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について（成年被後見人等の権限の制限に係る措置の適正化に係る改正）	議案第38号	令和元年度鏡石町上水道事業会計補正予算（第2号）（人事異動による職員給与150千円の増額補正）
		陳情第1号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書について（委員会決議不採択）（宜野湾市民の安全を守るため、普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見）

第2回定例会 審議の結果（賛否が分かれたもの）

\* 「○」賛成 「×」反対 「-」古川文雄議長は採決に加わらない。その他の議案は、全会一致で可決した。

議案・報告等	結果	畑幸一	角田真美	橋本喜一	菊地洋	小林政次	井土川好高	渡辺定己	大河原正雄	今泉文克	木原秀男	円谷寛	古川文雄
議案第25号	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	-
議案第26号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	-
陳情第1号	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	-

# 一般質問



**一般質問**は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に問題点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告をします。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。(1人1ページ)  
 なお、今議会の登議員は5人でした。

## 五議員が町政を問う

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
6	今泉文克	○ 台風19号被害状況と対策について
7	渡辺定己	○ 児童通学路の安全対策について ○ 道路行政について ○ 集会所の改修について ○ 高久田ほ場整備事業について
8	小林政次	○ 台風19号に関わる農業、商工業等被害対策は ○ 高齢者等福祉として、巡回バス・デマンドタクシー等を運行する計画はあるのか ○ 久来石行方蓮池西線に係る地藏踏切南側の農道再舗装について ○ 高速道路アンダーパスの浸水対策並びに側溝の環境整備について ○ 老朽化した空き家の現状と更地化への対応並びに空き地の雑草対策について ○ 構造改善センター・鳥見山体育施設・体育館等の管理人の連絡会議の開催状況について ○ 新年度予算について
9	角田真美	○ 台風19号による成田地区の災害について ○ 災害対策について ○ 子ども食堂開設について ○ 町の奨学金の現状について
10	円谷寛	○ 健康福祉センター(仮称)の具体的内容について ○ 駅東開発准工業地域の開発手法について ○ 入札の公平・公正化実現について ○ 職員の適正な配置について ○ 町長の政治姿勢について

### 議会傍聴へお越しく下さい

次回の定例会は、3月となります。あなたの目と耳で確かめ、町政に参加しませんか。  
 傍聴手続きは、役場庁舎2階の議会事務局事務室で住所と氏名を書くだけで、どなたでも傍聴できます。



成田地区の災害

- ・ 災害復旧事業費 145,000千円
- ・ 農集集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
  - ・ 施設災害復旧工事 60,000千円
- ・ 上水道事業会計補正予算(第1号)
  - ・ 住宅応急修理費など) 131,330千円
- ・ 一般会計補正予算(第4号)
  - ・ 災害対策費(援護資金) 8,000千円
  - ・ 応急復旧作業等 8,000千円
  - ・ 住宅応急修理費など) 131,330千円
- ・ 農集集落排水事業特別会計補正予算(専決処分)
  - ・ 農業施設等災害復旧事業 24,300千円
  - ・ 公共土木災害復旧費 5,100千円
  - ・ 廃棄物処理等対策費 80,462千円
  - ・ 災害対策費(避難所等) 24,885千円

## 第2回臨時会

### 災害関連補正予算

全5議案を審議・全会一致で可決

第2回鏡石町議会臨時会は、令和元年11月21日(木)に開催されました。この臨時会では、10月に発生した台風19号による応急対策を迅速に進めるため専決処分した補正予算及び応急復旧関連の補正予算案などの議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

今回の臨時会では、専決処分した補正予算2件の報告、一般会計補正予算案など4件の補正予算を審議・議決しました。

## 県選出国会議員要望活動

11月28日(木)東京都永田町、衆議院第一・第二、参議院議員会館にて、福島県選出国会議員(衆議院議員6名、参議院議員3名)に対し、5事業について要望書を提出し、要望(陳情)活動を実施しました。

町議会からは、古川議長・畑副議長・橋本総務文教常任委員長・角田産業厚生常任委員長・今泉広報広聴常任委員長・渡辺議会運営委員長が、町執行から遠藤町長が参加しました。

当日は、議員本人と面会できた6議員 玄葉光一郎・根本匠・上杉謙太郎・金子恵美・亀岡偉民衆議院議員、増子輝彦参議院議員(その他議員は秘書対応、吉野正芳衆議院議員、若松謙維・森まさこ参議院議員)に対しては、直接要望書を手渡し、鏡石町の現状を説明しました。

要望事項は、以下のとおりです。

- 1 台風19号水害復興に係る支援策について
- 2 自治体財政支援について
  - ① 地方交付税の増額と早期交付について
  - ② 水道石綿セメント管更新事業に係る補助事業の復活について
  - ③ 社会資本整備総合交付金の財源確保と配分率の拡大について
- 3 一般国道4号鏡石町区間の4車線整備の促進について
- 4 土地改良事業における地元負担の軽減と早期事業の着手について
- 5 防災・減災、国土強靱化の推進について



- 児童通学路の安全対策について
- 道路行政について
- 集会所の改修について
- 高久田ほ場整備事業について

渡辺定己議員

**都市建設課長** 道路構造令に基づき歩行者の安全な通行を確保するとともに、沿道の状況等に配慮して15cmを標準としており、当該町道の緑石の高さは、20cmであり道路構造令に基づいた

**質問** 車道と歩道との緑石の高さが低いのでは。

**都市建設課長** 学校から児童への歩道利用の指導と、学校からの意見聴取による利用状況や要望について調査する。

**質問** 豊郷地区における歩道の安全対策は。歩道の幅が狭いと思うが。

**総務課長** 今後、学校や警察、関係機関と協議しながら、ガードレールの設置など、さらなる対策を進めて参りたい。

**質問** 二小における正門前交差の安全対策は。



第2小学校の正門前

構造となっている。

**質問** 須賀川と鏡石の道路の接続について。東部環状線と高久田一貫線の接続に道路調査費が付いたと聞くが、その後の進捗状況は。

**都市建設課長** 須賀川市の東部環状線への接続ルートとして協議を進めてきた。今年度においては、概略ルート設計を委託し、須賀川市と協議しながらルート選定作業を進めている。

**質問** 工事着手はいつ頃か。

**都市建設課長** 高久田地区ほ場整備事業区域との事業間調整や他の道路

**産業課長** 高久田ほ場整備事業について。町におけるほ場整備率は。



高久田地区ほ場整備地区

**質問** 多目的トイレについても考えは同じで、建物増築や集会所の全面改修が必要になることもあり、今後の調査研究課題とさせていただきます。

**質問** 多目的トイレの改修工事は考えられないか。

**総務課長** 多目的トイレについても考えは同じで、建物増築や集会所の全面改修が必要になることもあり、今後の調査研究課題とさせていただきます。

**質問** 障がい者対応のため、集会所に上がるためのスロープ等は考えられないか。

**質問** 事業の進捗状況を踏まえ、工程の見通しが立った段階で示ししたい。

**質問** 整備面積は555ヘクタールとなっており、整備率は42.2%となっている。

**産業課長** 集積や集約の達成率をクリアしなければならぬ。農地を地権者が地元で決めた担い手に任せることに同意できるかが重要な事項となる。現在この集積について地元役員と検討している。

**質問** 工事着手はいつ頃か。

**産業課長** 通常は、計画が承認されてから2年から3年程度経過した後、工事が着工される。



- 台風19号の被害状況と対策について
  - ・ 生活再建にむけて、多面的な対応を
  - ・ 営農対策をどう考えるか
  - ・ 阿武隈川の改修をどう考えるか

今泉文克議員

**質問** 台風19号被害状況と対策について、生活再建に向けて「補助金」「減税」及び「生活用品確保」等多面的に実施すべきと思うが。

**総務課長**

この度の台風19号による被害は大変甚大なものであり、過去の水害と比較しても最大規模の被害ではないかと考えている。また福島県を始め関東、東北地区の広範囲で被害を受けていることから11月1日にはいち早く激甚災害の指定を受けた。このような状況を踏まえ町及び国・県においては多岐にわたる支援策を既に実施しているところであり、内容としては被災証明を始めとした証明書の発行、被害者再建支援金などの給付金、上下水道料の減免、保育料減免や学用品支給などの子育て教育関係、住宅の応急修理や民間借上げ住宅管理住宅の一時避難者への提供などの住宅関係、農業被害への支援相談関係、各種優遇貸付制度などの商工業関係、健康相談やごみ収集などの健康環境衛生関

係など、10分野これらの内容を一冊にまとめたガイドブックを作成し、すでに被害者の方々へ配布を行うとともにホームページへも掲載し情報提供を行っている。

**質問** 鏡石の産業維持ため「圃場の復旧」「作業機械確保」「生産意欲向上」などのように考えているか。

**産業課長**

現在町としても農地の大規模災害を受けた箇所についての災害査定を受けるための準備を進めている。その他緊急な復旧を進めるため小規模な災害箇所については多面的機能支払い交付金団体の協力をいただきながら農地や農業施設の復旧工事を実施する。

また被災した農業用パイプハウス等の農業用施設や農業用機械への支援策として再建や再取得修繕に係る費用の支援策も国・県から示されており今後はそれらの支援策の詳細が分かり次第、被災した農家の方々に手続等について支援していく。

**質問** 成田地区再生に向けて新たな住宅地の形成、道路改修、河川補修及び内水面対策をどのように考えているのか。

**総務課長**

成田地区の生活環境をどのように再生していくかを検討するにあたり、去る11月19日に成田行政区と農業関係の代表者の方々と復旧復興に向けた懇談会を行い、現状や今後の方向性について貴重なご意見を頂戴した。

特に住宅については今の場所に再建してもまた水害にあうのではないかと強い不安の声が多く聞かれており、別な土地に住宅を建て替えようという動きが出ている状況にある。仮に成田地区の方々がバラバラに土地を求め移転することになると成田行政区のコミュニティの維持・形成に支障をきたすことから、対策の必要性を感じているところである。新たな住宅地の形成による集団での高台移転等は効果的な対応策の一つであると考えているが、多額の費用や合意形成のために長い期

間が必要となることから、課題も多い。

**質問** 乙字ヶ滝上の東京電力発電用のための堰の改修「可動堰」の要請をすべきと思うが

**総務課長**

ご指摘の堰については須賀川市が管理しており、浜田用水路に対し阿武隈川の水を送るため乙字ヶ滝上流に設けられている施設である。

また前田川地区への農業用水の余剰分を東北電力株式会社の前田川発電所が利用して発電を行っている。堰の構造については全てが固定式ではなく、一部が可動堰となっており一定の水位調整機能を持った作りとなっている。

以前より成田地区の方々が、すべてを可動堰にできないかとのご意見を頂戴しており、乙字ヶ滝区域の河川管理者である国・県との水防に関する懇談会の席上などにおいて繰り返し意見要望を行っているところである。



- 台風19号による成田地区の災害について
- 町全体の災害対策について
- 子ども食堂について
- 町の奨学資金の現状について

角田真美議員

**質問** 鈴川のバックウオーター現象対策として排水ポンプ設置を考えるべきと思うが。

**総務課長** 河川国道事務所の担当者からは、この堰は水位上昇に対する影響は限定的であるとの見解を伺っているが、今回の被害状況を踏まえると全体を可動堰に変更し水位を下げることは重要な課題と考えるので引き続き国に対し強く要望していきたい。

**質問** 乙字ヶ滝上の取水堰を可動堰とすべきではないか。

**都市建設課長** 応急復旧は完了したが本復旧工事については河川管理者である県に対し、今回のような洪水でも決壊しない強固な堤防とするよう要望したい。

**質問** 阿武隈川の堤防を二度と壊れぬスーパー堤防とすべきと考えるが。



阿武隈川決壊箇所

**総務課長** 河道掘削や河川敷の伐木と併せ排水ポンプ設置ができれば、調査研究を進め国・県に対して要望していきたいと考える。

**質問** 防災ハザードマップ見直しと全戸配布を徹底すべきでは。

**総務課長** 現在、県が想定区域の見直しを行っており、その発表後に簡易版を作成し、住民に周知を図りたい。

**質問** 災害時の障がい者の避難対応は。

**福祉子ども課長** 町では「避難行動要支援者

**質問** 子ども食堂に関する町の考え方は。

**福祉子ども課長** 子ども食堂はNPO法人や地域のボランティア団体が子ども達に対し、無料または安価で栄養のある食事や団らんを提供する取組みと位置付けられ、全国各地で3千7百箇

**質問** 資金の利用条件の緩和をどのように考えるか。

**教育課長** 現在の育英資金基金約5千9百万円では、四年制大学では一人3百万円が上限となるので、年間の可能人数は多くても3名程度と考える。現在育英資金の利用者は22名で、貸付残高は約2千5百万円となっている。

**質問** 町の奨学資金の現状について。

以上設置されている。町は今後、開設等の具体的な相談があれば情報提供に努めていきたい。

**教育課長** 育英資金の貸与額は、大学や高校など区分に応じて一人月額1万5千円〜5万円以内となっている。また入学準備金として30万〜60万円以内の貸与となっている。平成30年及び31年は新規の利用者はいない状況である。



- 台風19号に関わる農業、商工業等被害対策について
- 高齢者等福祉対策の巡回バス、デマンドタクシー運行計画について
- 久来石行方蓮池西線の地蔵踏切農道再舗装について
- 高速道路アンダーパスの浸水対策並びに側溝の整備について等

小林政次議員

**質問** 台風19号に関わる農業、商工業被害対策について

**産業課長** 農業被害に関して農業用ハウス等の農業用施設の再建、修繕費用や、農業用機械の再取得、修繕費用を示されたほか、保管中の米が水没した営農再開への支援等々も、国や県から示されている。

**質問** 次に、商工業関係は約10事業所が被害を受けている。国では中小企業等グループ施設等復旧整備補助金や小規模事業者持続化補助金などの復旧等に支援が制度化されている。町は、事業所訪問し、本制度申請や作成の支援を図って参りたい。

**質問** 高齢者等福祉対策の巡回バスかデマンドタクシーの運行計画はあるのか。

**福祉子ども課長** 社会福祉協議会の、ゆうあいバス事業を水曜・木曜の週2回午前と午後1回運航している。対象者は65歳以上の独り暮らしの方、障がい者で支

援が困難な方で、移動手段確保が困難な方で社協会長が認めた者となっています。昨年度実績は年間百三日、登録者18名、延べ利用者は年間633名でした。利用先は町内のスーパー、役場、金融機関、町の駅、老人福祉センターである。高齢者の免許証返納の動きもあるが、巡回バスやデマンドタクシーの具体的な計画はない。

**町長** 買い物弱者等への対策も含めて、検討していく。

**質問** 久来石行方蓮池西線に係る地蔵踏切南側の農道再舗装について。

**都市建設課長** 当該箇所は舗装が劣化しており、補修しているが著しい区間約80メートルは舗装代替工事を視野に予算確保に努めて参りたい。

**質問** 高速道路アンダーパスの浸水対策並びに側溝の環境整備について。



舗装劣化した農道

**都市建設課長** 豪雨により冠水する高速道路アンダーパスは、町内で二箇所あり、台風19号でも通行止めの措置をした。二箇所の道路は冠水注意喚起看板と水深計を設置して通行者の車両水没未然防止を図っている。また、パトロール強化で現場対応措置を行っている。

**質問** 老朽化した空き家の現状と更地化への対応並びに雑草対策について

**総務課長** 現在の空き家は89件となっている。「空き家バンク」の設置、管理者への指導を行っている。

**質問** 体育施設等の管理人の連絡

会議の開催状況は。

**教育課長** 必要に応じ、管理業務打ち合わせ会を開催している。

**質問** 令和2年度予算について、町長は何を目玉と考えているか。

**町長** 令和2年度の予算については、10月に発生した台風19号による甚大な被害に対する被災者支援はもとより、災害復旧にも全力で取り組む。また、「第5次総合計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の計画に基づいたまちづくりを進める。目玉となる事業については、新浄水場を整備する「第5次上水道拡張事業」、「駅東第一土地区画整理事業」第3工区の推進、子どもから高齢者までが「笑顔と健康」で暮らせるまちづくりの拠点施設となる「(仮称)健康福祉センター」の整備、地方創生と人口減少対策としての「子育て支援対策事業」等の取り組みを推進していきたい。



円谷 寛議員

- 健康福祉センターの（仮称）の具体的内容
- 駅東開発準工地域の開発手法について
- 入札の公平・公正化実現について
- 職員の適正な配置について
- 町長の政治姿勢について

**質問** 健康福祉センター（仮称）の具体的内容は。

**町長** 分散化や老朽化した、町公共施設の機能更新、住民サービスの利便性向上、保健・福祉機能の集約化を図る。

**質問** 今年度中に基本計画を作成するため、福祉関係団体及び地域住民の代表者や学識経験者で組織した基本計画策定委員会を立ち上げ、施設の機能などを検討している状況です。

**質問** 健康福祉センター（仮称）は町の一大コミュニティセンター施設とすべき。

**町長** 福祉の総合施設として分散して実施していた事業の集約化で、子供から高齢者また包括的な事業を実施できると考えている。

**質問** 温泉施設の設置を検討すべきでは。

**福祉こども課長** 新たな温泉施設を想定すると、用地確保、施設整備費、維持管理費など多額の費用が必要のため、現段階では考えていない。

**質問** 駅東開発準工地域の開発手法について

**町長** 準工業地域26haについては、進出企業の要望に応じたオーダーメイド方式での対応として企業誘致を行っていますが、現在まで企業誘致には至っていない。

**町長** 今後の事業の進め方については、県内や近隣市町村の工業団地の動向に注視し、土地画整理事業の進捗に合わせ、担当課と連携しながら検討を継続する。



第3工区

**質問** 町有地を一日も早く活用する手法を考えるべき

**都市建設課長** 第3工区と同様に町有地を集約して、活用を検討する必要があります。今後も地権者と合意形成を図りながら区画整理事業を着実に進めていく。

**質問** 入札の公平・公正化の実現について、最低制限価格入札の危険性は。

**町長** 地方自治法の規定により最低制限価格を設定し、予定価格の範囲内で最低価格者に落札する制度であり、ダンピング等の安価な価格での工事の質の低下を防ぐ目的である。近年は業者の赤字受注や品質低下、下請けへのしわ寄せおよび労働条件の悪化などの抑止効果がある。

**質問** 手抜き工事対策に「検査員」制度を再設置すべきではないか。

**町長** 専門検査員の人材確保は困難である。今後は業務に精通した再任用職員の検査員への配置を検討する。

**質問** 職員の適正な配置について大量退職時期の対応と偏った職員構成の是正は。

**町長** 平成28年度に策定した町職員定員管理計画の中で、当面再任用職員制度による再雇用と新規採用を併用し年齢構成の平準化を図っていく。

**質問** 固定資産税誤りに町長の責任はないか。

**町長** 固定資産税の課税誤りは職員の確認不足であり、今後このようなミスが生じないように、幹部会議にて綱紀粛正の徹底を周知し所属職員に対し指導するように、私自ら指示した。

**総務文教常任委員会  
所管事務調査視察  
報告**

令和元年度総務文教常任委員会（橋本喜一委員長）の所管事務調査は11月19日（火）・20日（水）山形県朝日町と宮城県加美町において実施しました。

空き家等の適切な管理は、第一義的には所有者等の責任において行われるべきであり、所有者等への意識啓発や空き家等を発生させない取り組み、空き家等の有効活用、情報の提供や相談窓口などの体制整備など、やるべき事は非常に多いと感じました。

町民生活に大きな影響がでる前に、対策を進めることが重要です。そのため、それらの事務についても大変ボリュームのある事業であることから、我が町においても、計画的に着実に進めなければなりません。



朝日町議会議場にて

地域おこし協力隊導入の効果としては、隊員の自己開発や生きがい発見、隊員活動による地域への刺激、行政ではできなかった柔軟な地域おこし策や住民が増えることによる地域活性化など三方よしの事業となっており大変に魅力的な事業となっています。行政はコーディネートとしての役割が重要であると同時に、ひとつづくりは、大変重要な課題であることから、我が町においても、体制を整えしつかりと対応する必要があります。

**産業厚生常任委員会  
所管事務調査視察  
報告**



桶川市での研修風景

令和元年度産業厚生常任委員会（角田真美委員長）の所管事務調査は11月18日（月）・19日（火）栃木県芳賀町と埼玉県桶川市において実施しました。

今回の視察研修の主なテーマについては、交通弱者対策（デマンド交通事業）と公共施設の整備事業（PPP事業）について視察調査しました。芳賀町では、交通弱者対策

桶川市においては、公共施設を民間と連携して施設運営をする整備事業（PPP事業）が行われています。ショッピングセンターと、体育施設や図書館などのコミュニティセンターが併設されており、この施設は民間の大手建設会社、設計・企画運営に参加しています。

桶川市と芳賀町何れも調査した内容は、当町の今後の諸問題に対し課題解決のヒントを得る貴重な機会となりました。

**岩瀬地方町村議会  
議員協議会視察研修**

鏡石町と天栄村で構成する岩瀬地方町村議会議員協議会（古川文雄議長が会長）視察



中之条ガーデンズ

研修は、11月6日（水）・7日（木）の2日間、群馬県中之条町において実施しました。「花と湯の町」なかのじょうは、花による町づくりを進めており「中之条ガーデンズ」や「花桃街道」「中之条山の上庭園」などの整備を進めており、町が直接行う施設整備のみならず、地域・団体・個人等が行う活動への支援や小中学校や社会教育現場などでの人材育成に力を注いでおり、花の力による「人づくり」「地域づくり」の実現を目指しています。

現地視察では、花のシーズも終盤でしたが、来年に向けた準備が始まっており、施設管理の大変な様子が伺えました。